

審議会等会議録

審議会等の名称	令和 5 年度第 2 回山口市立図書館協議会
開催日時	令和 5 年 1 1 月 2 4 日（木曜日） 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
開催場所	山口情報芸術センター 2 階 多目的室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	安光会長、伊東副会長、仲村委員、安光（真）委員、瀬川委員、中村委員、三坂委員、山田委員
欠席者	井上委員、福永委員、属委員、野村委員
事務局	大井中央図書館長、杉山小郡図書館長、網田秋穂図書館長、国重阿知須図書館長、榎本徳地図書館長、中山中央図書館管理担当主幹、平岡中央図書館サービス担当主幹、一村中央図書館サービス担当主幹
議題	1 デジタル技術を活用した市立図書館の取組について 2 周年記念事業、新規・拡充事業等について 3 その他
内容	○中央図書館 中山管理担当主幹 おはようございます。本日はお忙しいところをお集りいただきましてありがとうございます。 本日の資料については、事前に送付しています次第、席次表、名簿、資料となります。お手元に届いていない場合は、お申し出ください。また、令和 4 年度の図書館年報を配布していますのでご確認ください。 それでは、今年初めて出席されました委員から挨拶をお願いします。 瀬川委員、中村委員（自己紹介） ○中央図書館 中山管理担当主幹 会議の成立についてです。本日は、井上委員、福永委員、属委員、野村委員が欠席されていますが、委員の過半数が出席されていますので山口市立図書館条例施行規則第 2 4 条第 2 項の規定により会議が成立していることを報告します。 また、本日は阿東図書館の徳本館長が欠席です。 これからの議事進行は、山口市立図書館条例施行規則第 2 4 条第 1 項の規定により会長が議長となることとされていますので会長にお願いしたいと思います。 ○安光会長 おはようございます。令和 5 年度第 2 回山口市立図書館協議会を開催します。議事録の作成にあたって録音することに同意いただけますか。 （了承） 議事録をホームページで公開してもよろしいですか。 （了承） 発言の際には、名前を言われてからお願いします。 本日の議事は、「1. デジタル技術を活用した市立図書館の取組について」

「2. 周年記念事業、新規・拡充事業等について」「3. その他」です。

最初に、「1. デジタル技術を活用した市立図書館の取組」について、事務局から説明をお願いします。

○中央図書館 中山管理担当主幹

資料の1ページをご覧ください。デジタル技術を活用した市立図書館の取組について説明します。山口市立図書館では、デジタル技術を活用した市立図書館の利便性向上の取組の一環として、マイナンバーカード、スマートフォンによる図書館資料の貸出サービスを今月10日から開始しました。①マイナンバーカードによる貸出サービスについてです。マイナンバーカードを貸出カウンターの専用カードリーダーに置くことで、資料の貸出ができるものです。これは総務省が提供しています、マイキープラットフォームを活用したサービスで、県内初の導入です。マイナンバーカードの利用には、マイキーIDが発行されたマイナンバーカードと図書館利用カードを図書館にお持ちいただき、連携の手続きをしていただく必要があります。②スマートフォンによる貸出サービスについてです。図書館のホームページでログインし、利用カードのバーコードを窓口で提示すると資料の貸出ができるものです。こうしたデジタル技術を活用した新たなサービスの開始によりまして、図書館カードを持参していなくても、資料の貸出が可能となるものです。

2ページをご覧ください。サービスのイメージです。上がスマートフォンのバーコード表示です。必ずログインしてカウントアップの状態でもバーコードを提示いただくこととなります。画面のスクリーンショットでは利用できません。下がマイナンバーカードによる利用のイメージです。カードリーダーに置くことで、マイキープラットフォームに照会され、利用者番号がバーコードで表示されます。それを図書館システムで読み取り、貸出手続きをします。

3ページをご覧ください。県内の公立図書館のスマートフォン対応とマイナンバーカード対応の導入状況をまとめています。スマートフォンは、県立図書館、下関市、萩市、岩国市が既に導入されており、本市は県内で5番目の導入です。マイナンバーカードの対応については、県内初の導入となっています。

4ページをご覧ください。山口市のLINE公式アカウントのリニューアルについてです。今月30日から本市LINE公式アカウントに図書館メニューを新設します。「おすすめ」のタブを押すと一覧が表示され、図書館のアイコンを押すと図書館メニューが表示されます。本の検索・予約やデジタル利用カードの表示がタッチ操作で簡単に行えるようになります。

5ページをご覧ください。電子図書館サービスの導入状況についてです。県内の公立図書館の電子図書館サービスの導入状況についてです。下関市は平成27年3月31日でサービスを終了しておりましたが、本年10月4日より再開されています。10月5日現在、県内では10市と県立図書館が導入しています。未導入は、長門市、柳井市、山口市と町立図書館です。また、電子図書館の資料

費の令和5年度予算と電子書籍数についてもご覧ください。

6ページをご覧ください。全国の公立図書館の導入状況についてです。こちらの件数については、一般社団法人電子出版制作・流通協議会の調査によるもので、本年10月1日現在となっております。1の電子図書館導入自治体の比率については、1,788自治体中520の自治体が導入しており、導入率が29.1%です。分母の1,788自治体は、基礎自治体と都道府県です。以下、2から7までは、1の内訳です。5の市導入率については、772自治体のうち318自治体が導入しており、導入率は41.2%です。

本市の電子図書館サービスの導入については、第4次図書館サービス計画で、令和7年度導入の予定としています。先進事例等を参考にしながら引き続きしっかりと検討していきたいと考えています。

○安光会長

デジタル技術を活用した市立図書館の取組について何かご質問はありますか。

スマホとマイナカードの導入は、市内6館で対応できますか。

○中央図書館 中山管理担当主幹

市立図書館6館と、移動図書館「ぶっくん」で利用できます。

○安光会長

スマホを持参しても手続きしておかないと使えませんが、その使い方や手続きは教えていただけますか。

○中央図書館 中山管理担当主幹

基本、スマートフォンは自分で操作をしていただきます。

○安光会長

マイナンバーカードは、カウンターに持参すれば対応していただけますか。

○中央図書館 中山管理担当主幹

はい。マイナンバーカードと図書館利用カードを持参いただいて、最初にお手続きしていただきます。

○伊東副会長

今月10日から開始され、現時点での登録数はマイナンバーカードとスマートフォンで何件ですか。

○中央図書館 中山管理担当主幹

中央図書館では、スマートフォンでの貸出が16件、マイナンバーカードの登録は13件で貸出は1件です。

○伊東副会長

マイナンバーカードの場合は、窓口での手続きが必要ですがそれをした人が13人もおられますか。

○中央図書館 中山管理担当主幹

はい。

○伊東副会長

市民に好評でしょうか。他市町の導入状況を見ると、マイナンバーカードと連携しているのは山口市だけですね。スマートフォンは使いやすいと感じられるのでしょうか。

○中央図書館 大井館長

スマートフォンの方が使いやすいという感想は持っています。マイナンバーカードは、県内で導入しているのは本市ですが、これが県内に広がると、この1枚で、例えば、山口市でも防府市でも宇部市でも使えます。そういう意味では利便性は向上してくると思います。マイナンバーカードを紛失するとの懸念もありますが、運転免許証や健康保険証など、利用が広がると、図書館での利用も増えるかと思っています。

○伊東副会長

マイナンバーカードは、貴重なものになってきており、普段持ち歩かない人もいるのかもしれない。

○安光会長

若い人は、ポイントカードをあまり持たずスマートフォンで処理していることもあるのでその一環ですね。

○中村委員

利用者にとって、スマートフォンで貸出できるということは便利になることだと思います。スマートフォンやマイナンバーで貸出ができるようになることが、職員側から見たらどうなのでしょう。

○中央図書館 大井館長

手続き方法が増えるので、覚えることは増えてくるとは思います。例えば、図書館利用カードを忘れた方に忘失届を提出させていますが、それを案内せずスマートフォンの利用を勧めることで負担軽減にもなるかと思っています。

○安光会長

自動貸出機には使えませんね。自動貸出機の意味としては、何を借りて読むのか分からないように処理するものです。スマートフォンを使えるように今後なるのでしょうか。

○中央図書館 大井館長

他の自治体では導入しているところもあります。令和7年度にシステムを更新しますので、その際に導入できるのかも検討していきたいと思っています。

○安光会長

是非、その中に入れていただければと思います。若い人がカウンターに並ばず、自動貸出機ですぐ借りられると、より利便性が上がると思いました。

○伊東副会長

バーコードのスクリーンショットでは読み込めない設定ですか。

○中央図書館 大井館長

スクリーンショットは、なりすましの可能性もありますので、ログインしてか

ら数分でログアウトする設定にしています。借りる前にログインし、表示させることで、なりすましを防止しています。

○伊東副会長

利用者のバーコードは単なるバーコードですが、スクリーンショットを提示されても読み込めますよね。運用として禁止ですか。

○中央図書館 大井館長

はい。カウントアップを職員が確認して、スクリーンショットかどうかの判断をするようにしています。

○伊東副会長

ホームページのかなり深い場所にバーコード表示があるので、利便性が上がったと言いますが、そこが軽減されていませんね。スクリーンショットでよければ、それがいいという人もでてくるかもしれません。その時になりすましというのを、どこまで対策として考えるのかということです。今までの紙のカードも、なりすましでもいいではないかということになります。スクリーンショットはだめというのは、利便性を若干犠牲にしている部分はあると感じます。スクリーンショットでもいいのではないかと思います。

○安光会長

そのあたりは図書館の中で検討ということでお願いします。一応バーコードは、スクリーンショットではないものということです。十数人が登録しているということですが、利用はもう少しありますか。

○中央図書館 大井館長

利用が中央図書館で16人。全館で30人程度です。

○安光会長

それでは、周年記念事業、新規・拡充事業等について、各図書館から報告をお願いします。

○中央図書館 大井館長

7ページの中央図書館の概要をご覧ください。中央図書館の主な取組としては「利用層拡大の取組」「子どもの読書活動の推進」「開館20周年記念事業の実施」です。また「DX化の推進」としてマイナンバーカードやスマートフォンを図書館利用カードとして利用できるサービスを開始しました。

20周年記念事業についてですが、11ページをご覧ください。この事業のチラシです。メインのイベントとして、来月17日に「山根基世さんによる記念講演と朗読会」をYCAMのスタジオAで開催します。「図書館20年の歩み」展を10月末から今日まで開催しています。図書館開館前の写真や「ぶっくん」の開館式など懐かしい写真を展示しております。「おはなしひろばスペシャル」として、今月3日に読み聞かせや手あそび、工作などを実施しました。「図書館でカバーをおかけします」は、10月5日から8日までと今月2日から5日まで文庫または新書を借りられた先着50名に湯田地域出身のイラストレーター日比野尚子

氏デザインのブックカバーをおかけしました。1ページ戻って、中央図書館まつりの関連事業で「石川直樹さんの記念講演会」「おいでマルシェ」とのコラボとして、山口産の野菜などの販売などをしていただき賑わいました。

20ページの阿東図書館まつりのチラシをご覧ください。7月23日に「林隆雄氏のチェーンソーアート」を図書館前で実演していただきました。オランウータンをその場で製作する実演でした。以前に図書館協議会で委員をしていただいておりました「大野先生の10周年記念作品」、これもチェーンソーアートを作っていた、その制作過程のDVDを上映しました。

その他の事業については、21ページでございます。「あとう夢太鼓」のオープニングから始まりまして「ブックリサイクル」まで多くの方で賑わいました。

○小郡図書館 杉山館長

小郡図書館から今年度の新規事業・拡充事業の経過を報告します。新規事業として14ページをご覧ください。「開館15周年記念事業」として、10月29日に絵本作家の鈴木まもる氏による「せんろは つづくワークショップ」と題した木工工作の鉄道模型を作るワークショップを開催しました。定員30名で当日欠席がありまして、28名に参加いただきました。小郡は鉄道の町でして、本年度は「山口線全線開通100周年」ということもあり、講師の「せんろはつづく」というシリーズにあやかっの開催としました。工作だけでなく、講師の優しい口調で色々なエピソードを話され、参加者も大変楽しんでおられました。

「図書館施設の改修」は、太陽光発電設備の改修工事を9月28日に行っております。太陽光発電による一部電力の供給ということですが、まだ、出力モニターとの連携ができておりませんので、実際にどのくらい供給しているかというのが把握できておりません。これから電気料金などに反映されるのではないかと思います。それで比較してみたいと思います。

拡充事業です。「企画展示の充実」です。これは以前からもしていましたが、毎月の企画展示のテーマを開架書籍と閉架書籍と児童書籍という3部門に分け、職員が各テーマを考えて、企画展示をしています。

「他機関との連携強化」ですが、小郡図書館では小郡文化資料館と小郡地域交流センターとの連携イベントを行っています。

文化資料館については、4月の「こどもワイワイ図書館」の際に、文化資料館の学芸員に、図書館で使用するレシートの芯で「こま」を作るワークショップを開催してもらいました。7月に文化資料館で開催された「子ども向け体験講座 昔の切り絵と怖い話」の中で、図書館職員が怖い話の読み聞かせを行いました。今月26日まで文化資料館で「山口線全線開通100周年記念事業」として「小郡黒鐵黄金時代」を開催しています。それに合わせて、小郡図書館でも鉄道関係の企画展示を行っています。小郡地域交流センターとの連携ですが、これについては上映会を、一般向けの「スパイの妻」、児童向けの「おしりたんていコズミックフロント」を各1回開催しています。今年度中にもう1回ずつ、一般向け、児

童向けを開催したいと思います。

12、13ページの「小郡図書館まつり」です。今月3日に「小郡図書館まつり」を開催しました。「図書館の本から生まれた作品展」「おはなし会スペシャル」「ブラインドブック」「ライリーと写真撮影」小郡図書館友の会「鉢の子」による「ブックリサイクル」を行いました。開館15周年を記念して「手製のしおり」を、資料を貸出された方にプレゼントしました。同日、小郡の福祉まつりと健康まつり、消防まつりと同じ場所で同時開催だったこともあって、多くの皆様に参加いただきました。

今後も他機関との連携イベントなどを通して図書館を盛り上げていきたいと考えています。

○秋穂図書館 網田館長

新規拡充事業について、7ページをご覧ください。拡充事業では「館内機能の充実」で展示機能の効率化を図っています。

15ページにあります8月5日の「秋穂図書館まつり」では「ワークショップ」「おはなし会」「ブックリサイクル」「上映会」などに取り組んでいます。「布絵本の会」による新たな作品や「ちぎり絵サークル」による作品等の展示も行いました。それぞれ常設に移行し、館内にタペストリーや布絵本を展示しました。

新規事業の「図書館施設の改修」は、施設の天井ルーバーの改修を行うこととしていまして、年度内に休館することなく改修が行われるものと考えています。業者が決まりましたら具体的に調整していきたいと考えています。

○阿知須図書館 国重館長

8ページをご覧ください。「利用しやすい環境づくり」「新たな利用者の拡大促進」「学校等との連携強化」の取組については順調に進めており今後も引き続き取り組んでいきます。

16から18ページをご覧ください。「開館20周年記念事業」としては、開館月の7月29日に阿知須・井関小3年生から6年生までの児童全員と来館者に

「思い出の本」「おもしろかった本」の名前を木片に書いてもらい合計484ピースからなる「本でつなぐ未来」と題したモザイクアートの展示を行いました。先着100名には「牛革製のしおり」を配布しました。翌30日に開催した「革製のブックカバーづくり」ワークショップでは、20名の参加がありました。

「第21回きらら館まつり」は毎年11月3日の文化の日に開催しており、今年は開館20周年でもあることから開館記念特別企画も実施しました。例年の企画として「リレー市」「おはなし会」「上映会」「ガチャd e 本探し」を行い、20周年特別企画としては「大人向け読書袋」の配布と「ぬりえ」を行いました。

「読書袋」は「きらら館」のイラストを表に印刷し、内側にカード入れが付いた少し大きめの袋を先着50名に配布しました。「ぬりえ」は「きらら館」のイラストを好きな色で塗ってもらい、ぬりえ作業に使用した「クレヨンと色鉛筆」のセットは記念品として差し上げました。また出来上がった作品は「きらら館」内

に展示しました。現在も展示しております。

○徳地図書館 榎本館長

新規・拡充事業についてです。8ページをご覧ください。「図書館利用促進のためのイベント開催」として、今年度新たな試みとして「だしの素やみそ」で有名な(株)シマヤの協力を得て「日本の伝統食材“みそ”をつくろう!」と題した講座を6月17日に開催しました。クイズ形式で「みそ」の歴史や作り方等について学習した後、「みそづくり」を体験してもらい、作ったみそを持ち帰っていただきました。子ども19名を含む31名の参加があり、その約半数は、徳地地域以外からの参加でした。

「地域交流センター分館配送サービスの周知」については、改めて「徳地図書館だより」やウェブサイトへ掲載するなど周知に努めているところです。

「図書館まつり」については、19ページです。各種バザーや特産品の販売などが行われた「徳地フェスティバル」と同日の今月5日に開催いたし400名を超える多くの方に来館いただきました。当日のイベントとしては、子どもへの「絵本の読み聞かせ」「ブックリサイクル」「職員が図書館にある本を参考に手作りした作品とその本の展示」「お楽しみ抽選会」などを実施し来館者に楽しいひと時を過ごしていただきました。

○安光会長

各図書館から報告がありましたが質問等がありますか。各図書館ともコロナ前の体制で図書館まつりを開催されましたか。

○中央図書館 大井館長

今回は開館20周年でしたので、コロナ前より大きく、イベント数も少し増やして実施しました。

○安光会長

入場制限など、規制はされていませんか。

○中央図書館 大井館長

コロナ対策については、それぞれの判断として、特に強制はしていません。コロナ前と同様な形で実施しました。

○安光会長

制限についてはどうでしたか。

○小郡図書館 杉山館長

全く制限をかけずに、コロナ前と同様な形で実施しました。

○安光会長

周年記念事業があるとしても制限はかけていないということですね。

○秋穂図書館 網田館長

同じく制限はありません。参加人数等を比べても、コロナ前の実績にほぼ近いもの、あるいは超えているものもあります。

○阿知須図書館 国重館長

	制限なしで、コロナ前の例年の企画等で開催しました。 ○徳地図書館 榎本館長 制限なしで開催しました。それまで徳地フェスティバルがコロナ禍で中止になっていましたので、人手も増えました。 ○安光会長 阿東は制限なしかどうか分からないということで、他は今までどおりとされたということですね。 ○伊東副会長 小郡図書館の図書館まっりの「ブラインドブック」ですが、これも良い企画と思います。他でも「大人向けの読書袋」などを配っています。本との出会いを作るという意味で良い取組だと思います。この帯の文章を書いたのは職員ですか。 ○小郡図書館 杉山館長 この帯は、市販の本の帯を表につけて中身が分からないようにしています。 ○伊東副会長 付いていた帯を表につけて、本は紙で包んでいるのですね。 ○小郡図書館 杉山館長 帯だけを見てもらって借りていただきます。 ○伊東副会長 そこを司書がポップとして「これは秋の夜長によい一冊です」などとコメントを書いたオリジナルの帯だったらもっと借りる人がいるのかと思います。 ○安光会長 今後、無理のない範囲でしていただければと思います。 ○三坂委員 図書館まっりの「ブックリサイクル」で寄贈された本が多いと思いますが、余った本についてお聞きします。チラシには、「本の行先は図書館に一任ください」と書いてありましたが、本はどのように処理されますか。 ○中央図書館 平岡サービス担当主幹 「ブックリサイクル」が終了した段階で、非常に古い本と新しい本をある程度年代を定めて仕分けをしています。比較的新しい本は、業者を通じていずれかの団体への寄付を検討しています。最終的には実行委員会でどちらに寄付するかを決定しようと考えています。 ○安光会長 これまでは東北震災への寄付でしたが他も検討されています。 ○小郡図書館 杉山館長 「ブックリサイクル」は「鉢の子」さんがしていますので、そちらに任せています。図書館では本を預かり「鉢の子」さんに渡しており詳細は分かりません。 ○秋穂図書館 網田館長 秋穂図書館も小郡図書館同様です。基本的にはまつりだけではなく、他のイベ
--	--

ントにも活用しており、機会を多く設けてリサイクルしています。

○三坂委員

まつりが終わったら、その時点で処分ということではないのですね。

○阿知須図書館 国重館長

年中本の受け入れをしています。それを「リレー市」で提供しています。図書館まつりから約1から2週間、館内で受け取れるようにして、残った本は、3年から5年程度「リレー市」で提供し、5年経過後に処分しています。受け入れる際にも虫食いやシミがあったりするので、受け取る時点で許可をいただいて処分をさせてもらっています。

○徳地図書館 榎本館長

久しぶりに「ブックリサイクル」を再開しましたので、現在残った本をどう活用するか検討中です。阿知須図書館からあったように、来年もチャレンジしてみ、数年経っても引き取り手がない本については処分かと思っています。去年いた阿東図書館では、かなりスペースがあったため、図書館まつりの終了後も、長い間、自由に持ち帰ってもらえるコーナーを設けていました。徳地はスペースが狭いため、来年の図書館まつりに出品しようかと思っています。

○安光会長

それぞれ工夫をされています。

○伊東副会長

友の会が寄贈された本を持っていれば、5年も経って残ったものを古紙回収などで換金し、活動費に充てることができる。図書館として持っていると、処分するのが大変かと思います。市で抱えず処分を友の会でしていただいて、少しでも活動費にしていいただきたらと思いました。

○三坂委員

それもひとつですね。友の会も苦しい。

○伊東副会長

手間ばかりかかって、お金にならないかもしれませんが。

○安光会長

図書館の事情も、友の会との関係もあるでしょうが「ブックリサイクル」は、収益が上がりますか。収益があるとすればどういう方法を取っていますか。どのように本を出していますか。

○中央図書館 大井館長

10ページをご覧ください。会場はYCAMスタジオAのロビー。時間は10時から13時半までです。人気企画ですので8時半から並ばれていました。9時半頃から整理券を配り、一旦車などで休んでいただいて10時前に開館しまして、館内で並んでいただきました。収益は1人10冊まで持ち帰れるようにして、寄付として出口でお気持ちをに入れていただきました。今回は12時まで整理券を配布し、入場制限として50人毎に入らせ、その後はフリーにしました。あ

わけてその際に1人10冊の制限をなくし、必要な分だけお持ち帰りいただくようにもしました。

○安光会長

小郡は、友の会がされていますが、分かる範囲でお願いします。

○小郡図書館 杉山館長

今年の「ブックリサイクル」は、今月3日の10時から始めました。開始前に90人位並ばれ、かなり好評でした。「鉢の子」さんがされますが、収益は出ております。本に値段をつけられているようです。当日は、550人くらい来られ、盛況だったと聞いています。

○秋徳図書館 網田館長

基本、無償と考えていますが、友の会の方に運営をお任せしておりまして、気持ちといいますか、そういう箱の設置をされていると考えています。

○阿知須図書館 国重館長

人数など制限なしです。当日は開館前から30人位が並んでいました。昨年までは募金箱を置いていましたが、今年からは募金箱を廃止し無償としました。

○徳地図書館 榎本館長

「おいしいおかゆの会」に募金箱を管理していただいています。その貯まった募金で、図書館に寄贈いただいております。今年は3冊か4冊位子ども向けの図書を購入して、それを貸し出して「おいしいおかゆの会」が、小学校などで読み聞かせをされています。

○中央図書館 大井館長

お気持ちでいただいたお金は、まつりの実行委員会の資金としており、そちらで毎年の図書館まつりの運営費や周年記念事業の講演会などに充てています。

○安光会長

各図書館がどのようなことをされているのかというのを、私共も知るというのもよろしいかと思いました。「3.その他」として、事務局から何かありますか。

○中央図書館 大井館長

特にありません。

○安光会長

報告された内容でも結構ですし、図書館を利用して、気付き、意見、感想等があればお願いします。

○仲村委員

5ページの電子図書館サービスの導入についてですが、これはもう県内でも様々な図書館で導入されていて、山口市はどちらかというと後発という状況だと思います。導入を検討されることは、すごく歓迎したいと思っています。県内に導入されているシステムなどに違いはありますか。

県がKinodenを導入していると思います。折角の電子書籍ですので、県と重複が沢山あると勿体ないと思います。県のものはどこでも利用できる訳です

から。そうした時に、各図書館でシステム調整とか、蔵書の調整がされているのか、もしご存じでしたら。

○安光会長

市立は大体がTRCではないかと思います。県がKinodenで、県大はMaruzenを入れていると思います。棲み分けは分かりませんが、多分県内の市立ではTRCを入れているのではないかと思います。

○中央図書館 中山管理担当主幹

現時点ではよく把握しておりませんので、また調べておきたいと思います。

○安光会長

7年度に導入だと、来年度には予算要求していかなければいけないということですので、横並びがいいのか、違うところがいいのかなど、ご検討を今からしていただく良い機会ではないかと思います。

○仲村委員

県内の状況も聞かれているようですので、可能なら折角ですので調整されるとよいかと思います。

○安光会長

他に何かありますか。

○中村委員

二点ほど気付きなのですが、一つは職員体制のことで、今年度、光市と下松市と美祢市で、司書の募集がありました。去年は県立図書館であって、一昨年は岩国図書館でありました。山口市の場合、図書館準備室の時からいる3人の司書から、司書採用があるのか、ないのかを聞きたい。3人が本当にこの市の図書館を支えてこられたと思いますが、やはり次の世代に、図書館を支える核になる職員を育てていくことはとても大事なことでと思います。今年は特に3市で採用募集があったと聞いたので、山口市も考えないといけないのではないかなという気がしています。

○安光会長

職員問題のことですが中央図書館長お願いします。

○中央図書館 大井館長

開館前の準備室の段階で4名の職員が採用されまして、それ以降の採用というのは、現状できておりません。今後のことですが、専門性や継続性からも、司書の配置は必要だと感じております。人事担当部局に、その辺りのことを話しまして、必要性を訴えていきたいと思っています。ただ、市全体の考え方もありますので図書館だけで採用いたしますということは難しいですが、人事担当部局にも働きかけをしてまいりたいと思っています。

○中村委員

20年の蓄積を持つ司書のノウハウを次に繋げていただきたいと思います。

二点目は、ホームページの「ソノコのつぶやき」を読むのをとても楽しみにし

ていましたが2月から更新されていません。図書館では、資料の提供ということが職務の大きな柱のひとつですが「ソノコのつぶやき」が更新されないのはどうかと思います。ぜひ、活用して図書館をPRしていただきたいと思います。

○安光会長

これは要望ということでご検討いただきたいと思います。

また、ICタグや電子図書館の導入、学校図書館との連携、スマートフォンの自動貸出機対応など今から検討していただきたいと思います。

○仲村委員

電子図書館サービスについてですが学校の連携をする際に、児童生徒が見られるだけではなくて、特定の資料だけは、学校では何回でも何人でもアクセスできるシステムを持っているところがあります。普通の電子書籍は同時アクセスで1件とか2件とかですが、学校で使うのであれば、この本だけは何人でもアクセスできるのがよい。山口大学ならご存知だと思いますけれども、学校の現場では同じ本を見ることもあると思います。そうしたシステムも検討してもいいかと思います。電子図書館サービスの導入状況を見ると、地域資料数が0件と、いくつか導入している図書館があります。システムによっては自分のところが持っている地域資料や行政資料のデータを電子書籍のサービスに載せることができます。これはシステムによっても違いますので、可能ならば本を検索できるだけではなくて、行政資料や地域資料、あるいは資料に限らず情報資源みたいなものが一緒に検索できるシステムにしてもよいかなとは思っています。

○安光会長

仲村委員が言われたことも検討の中に入れていただければと思います。

○瀬川委員

移動図書館「ぶっくん」が、いつどこで運行されているというお知らせは、それぞれの地域でどのようにしていますか。

○中央図書館 平岡サービス担当主幹

北部と南部で2週に1回運行しています。周知に関しては前期と後期、4月から9月までと10月から3月までの運行計画を定めて配布しています。後期は、7、8月位に全体的な利用状況などを鑑みてコースや時間の変更などをして市民に示している状況です。多くの方に利用いただけるよう、その組み合わせや時間帯、小学校の状況なども鑑みて編成しています。

○安光会長

「ぶっくん」の時間はどうして知るのでしょうか。

○伊東副会長

スマートフォンで移動図書館を見ると、運行予定が出てくると思います。そういう情報が載っていないのであれば、ホームページをリニューアルされるということですから、載せるのは簡単ではないかと思います。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

図書館のホームページは3通りあります。それぞれに移動図書館の運行時間、コースを掲載しています。

○伊東副会長

チラシを見なくても、自分の家の近くに来るのかどうかというのは、スマートフォンでウェブサイトアクセスすれば見られるのですね。

○安光会長

4ページのLINE公式アカウントのリニューアルで図書館のメニューができることを紹介いただきたい。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

市が運営しているLINEアカウントには色々な情報が掲載されています。この度リニューアルするということで、その中に図書館を加えてもらっています。

○安光会長

ホームページにアクセスしなくても、LINEの登録をしたら、それを利用して「ぶっくん」の運行時間等を確認できますか。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

今回作ったメニューは、最終的に図書館の既存のページに対するリンクを付けるという意味合いが強いです。新しくLINE用にページを作るというよりは、メニューを押すと検索ページに飛ぶとか、デジタルカードが使えるとか、そういった頻度を高く使うページに対するメニューを掘り出すという形で、利用の間口を広げたいということです。移動図書館の運行のページなどもありますが、直接リンクするボタンは作らなかったのも、移動図書館への直接のリンクは難しいです。

○安光会長

ホームページを見てくださいということですね。

○山田委員

最初の「デジタル技術を活用した市立図書館の取組について」ですが、近年、児童生徒は、一人一台タブレットを持っていて持ち帰って使っていますので、今後、こういう形で学校図書館や市立図書館などと連携されやすいように小中学校のネットワークの中で、使えるサービスを紹介していただけると活用できるかなと思いました。

各地域の図書館でされていることを、こういうものに参加をして、学校の中の図書委員会だとか、色々な活動の中に取り込んでいます。例えば移動図書館、中学校では図書室を開館している時間が短くて、子どもたちが昼休み利用できないことも多いので、今年度は移動図書館を多分まねたのだと思いますけれども、各学年フロアに移動図書を置きたいということで、毎回50冊ほどあるので大変ですが、実際にやってみると、かなりの生徒が利用するようになりました。こういう移動させるということは、とてもいいことなのだと思います。

まつりの中で見てきたのだと思いますが「ブラインドブック」を、まさに今月

の活動で行いました。小郡中では「〇〇なあなたへ」「こんな何々に悩んでいるあなたへ」という表紙をつけて置きますと、他の子が興味を持って見ます。ポイントカード制や色々な図書館の施設で出会ったことを学校の中で意欲的にやろうとしています。

そういうことを具体的に教えていただいたりする機会が、まだあるのかなと思いました。ただ、この行事が、学校行事の一番混み合う時期と重なるので、中学生がなかなか行けない場面もあるかと思います。何かの形で、中学生も参加していきたいなと思いました。

「ブックリサイクル」という話がありまして、中学校でしてみたらどうなるのかなと思いながら、同世代が読んでいる本を、同世代が見るというのを、入れられるかなと思いますので、また紹介していただけたらなと思います。

○安光（真）委員

デジタルに関しては、進んでいくと思いますがついていけない者もいるということで、その辺をフォローしていただけるサービスも必要かと思います。今日の協議会に際し、そういうのをやっている人にどうか聞いたのですが、バーコードも使い勝手がよくないということだけを耳にしている人もいました。

図書館まつりは素晴らしいなと思って報告を聞きました。「ブラインドブック」専門の本屋さんというのを何かで見たことがあり、こういうのがあるのかとすごく感動しました。それを取り入れられたというのはすごいと思いました。

山口市は広いので、こうやっていろいろなオリジナルのまつりをされて、地域性というのがとても大事だと思いますので、それを大事にしてこれからも企画してほしいと思います。

○安光会長

他市の図書館では中・高校生が参加しやすいように、図書館まつりの日程を変えられました。小中高大学生と一緒に企画しているものはありますか。

○中央図書館 平岡サービス担当主幹

10ページをご覧ください。今回の「中央図書館まつり」で14の取組をしました。県立大学で企画していただいたものは「学生企画 めざせ！図書館マスター ～これどの本？～」です。これは学生に参画いただいたケースです。

子どもが企画するという取組、例えば、小、中、高校生が参加いただいた、企画したものは、この中にはありません。子どもが参加いただくもの「ワークショップ」「スタンプラリー」は、どちらの図書館でも行われておりますけれども、非常に多くのものをこちらに盛り込んでいます。今後、小、中学生であったり、高校生であったり、そういった方々と一緒に考えて作り上げていくような企画を検討し、実行委員会で検討させていただければと思っています。

○中央図書館 大井館長

企画ではありませんが「感動を声に！第4回朗読マラソン」には、湯田中から3名、鴻南中から3名参加していただきました。

○小郡図書館 杉山館長

中学生、高校生と一緒に企画する取組は行っていません。中学生、高校生向けに上映会を行ったことはありますが、集まりがよくありませんでした。一般のシアターに行って、図書館で行う上映会には、足を運んでくれないかなというのは思っています。

○安光会長

一緒に何かコラボして企画ができればなと思いました。

○秋穂図書館 網田館長

中・高校生が企画する取組は行っておりません。地域事情を鑑みれば、例えば秋穂地域での児童生徒数、あるいは先週「浜村杯ロードレース大会」というイベントがありましたが、それには秋穂中学校の生徒はボランティアで運営に参加したとかで、中学生も非常に忙しいと感じています。何らかの形で関わりを持って、図書に興味を持ってもらうような取組というのは必要だと感じています。

○安光会長

過去においては、関わっていたというようなこともありましたので、特に中学生や高校生との連携が必要かと思っています。

○安光（真）委員

秋穂図書館では、年3回「ブックリサイクル」をしています。中学生ボランティアが本の配列や来館者に声掛けをして、少しずつお手伝いいただいています。

○阿知須図書館 国重館長

学生とのコラボは行っていません。そういうことも考えたいのですが、子どもを動かすと先生も一緒に動くことになり、色々難しい部分がありますので、その辺はまだ実施できていません。

○安光会長

ぜひ、学校の先生を巻き込んでお願いしたいと思います。

○徳地図書館 榎本館長

図書館の企画に参加するのはありませんが、中央小学校が近隣にあるので、月に2回程度、館内で授業を行っているという関係はあります。授業の中で本を借りたり、返したり、そういったことをしています。

○安光会長

過去に県立大学の学生は中央図書館の「ブックリサイクル」「スタンプラリー」の手伝いをしていましたが、現在は学生企画をしています。手伝いから始めて次第に企画をしていければいいかなと。中高生、先生も巻き込んでほしいと思います。

○仲村委員

中央図書館だけではなく、他も県立大学として協力していけたらと思います。

小学校とか中学校とかいう単位ではなくて、地域のまつりに「子ども会」のような枠組みで、小学生などが参加をする方法があります。その地域のまつりに参加するように、図書館のまつりに参加をするのはどうでしょうか。学校を巻き込

んだ話になると、全学校行事と学校の先生が…という話になりますけれども、「子ども会」などの枠組みの中で捉えると、ボランティアなどに子どもが参加するというのはうまくいくと思いますけれども、いかがでしょうか。

○三坂委員

大内地域交流センターでは、地域の子どもの「放課後ゆめクラブ」を、地域の方がやっています。月に1回、お花の教室を子どもとやっていて、そういうので子どもが地域交流センターに来ています。図書のコーナーがありまして、お迎えの時間とか、友達と一緒にそこで本を読んでいます。大内は人口が多いのですが、図書コーナーがそんなに充実していなくて、あまり入れ替えの本もないけれども子どもは来てくれています。小学生は、中学校の学区以外は、子どもだけでは出かけられませんが、地域交流センターは子どもだけで行けます。

地域交流センターで、子どもが自然に集まって本を楽しめるように、もう少し何か連携できたらいいかと思います。「ぶっくん」が来ていますけれども、子どもは「ぶっくん」が来ているときに行けるとは限らないので。

三和児童館も図書の入替があまりないです。予算がそんなにないと思います。市の児童館、山口児童館、男女共同参画センターの図書コーナーにも行きましたが、市の施設がそれぞれ独自にやっています。もう少し連携して、地域ごとに本を通じて活動ができればよいと思います。学校の先生を巻き込んでとかいうことではなくて、子どもたちが自主的に行ける場所や、地域の方、車の運転ができなくて地域交流センターでしか本が借りられないお年寄りなど、そういう方々の身近に本があるという…そういうことを是非考えていただけるとよいというお願いです。本当に本が好きな人はたくさんいますので。お手伝いできることはさせていただきますのでお願いします。

○中村委員

私もデジタル弱者なので、定期的に、簡単でよいので、市立図書館の各館で、デジタル技術を活用してこんなことができますよというミニ講座のようなものをしていただけたらと思います。移動図書館のことはホームページに出ているとの話でしたが、それを知らなければ見ることはありません。活用講座をしていただけたらと思います。

○安光会長

導入された電子図書館の使い方だけではなく「ホームページを開いてみましょう」「ここには何がありますよ」「スマートフォンを開いてみましょう」といったものもあっていいのかなと思いました。

○伊東副会長

新規登録者に「利用ガイダンス」をしていると思いますが、その時に「スマホを使った図書館のウェブサイトの簡単な使い方」を教えてはいかがでしょうか。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

現状はできておりません。窓口でカードを作りたいという方の登録を受けます

けれども、大体4，5分位かけて1人に説明します。

説明することが多すぎて、どちらかというともっと基本的な使い方について説明していて、例えば、地域交流センターで本が受け取れたり「ぶっくん」が走っていたり、あるいは「ポスト」というのが市内にはこういう場所にあって、そこで本が返せます、大学図書館と連携してお互いに貸し借りができますとか、色々な説明事項がある中で、ホームページの使い方までは説明ができていません。

お問い合わせは結構ありまして、窓口で「この使い方が分からない」と機械を持って来られたり、あるいは操作について尋ねられたりすることもあります。それは個別に話をして実際に画面を見ながら対応しています。

ガイドンスに盛り込めれば、その方がいいかと思いますので、どういうことができるかは少し考えてみたいと思います。

○伊東副会長

「スマホでの図書館の上手な使い方」のようなガイドンス動画を中学生にボランティアで作ってもらってウェブページ上にアップしておくとかできませんか。

○中央図書館 一村サービス担当主幹

ホームページ右側のメニューに「図書館の便利な使い方」のページがありまして、本の予約の仕方等、画面を遷移させながら説明しています。新たに必要なものがあれば、そこに追加して解説を加えることはできるのかと思います。

○安光会長

学校で困っていることはありませんか。

○山田委員

読む子はすごく読みますけれども、全く利用したことのない子はこれから始める形で…。

○安光会長

それぞれ読書の在り方があるかと思います。紙をめくって読むのは難しいけれども、スマートフォンだとよいという子もいるかもしれません。色々な読書形態がどこかでヒットすればいいですね。

○三坂委員

放課後や休み時間は、学校図書館をある程度の時間、利用できますか。

○山田委員

私が今まで務めてきた学校では、残念ながら、放課後は部活をしているので、色々な事情で開けていないのですが、子どもからも要望はたくさんあります。

○三坂委員

部活をしていない子もいますよね。

○安光会長

山口市では学校司書が配置されており、週に2回程度は終日開館しています。

○三坂委員

いろいろな文化部系が図書室を使うと思いますが。

	○安光会長 それも資料を使つての利用でしょうか。 ○山田委員 どちらかというと施設の方が優先かなと。かなり要望は高いですが。保護者の意見もあります。 ○三坂委員 短い休み時間、お友達とお喋りしていると終わってしまうのではないかと思いますけれども。 ○安光会長 他に意見等ありませんか。 (意見なし) 意見がないようですので、以上で令和5年度第2回山口市立図書館協議会を終了いたします。事務局にお返しします。 ○中央図書館 中山管理担当主幹 本日の議事録は、ホームページに掲載することとしています。後日、議事録(案)を郵送いたしますので確認をお願いします。次回の協議会の開催は3月を予定しています。開催日程等は別途調整します。
	山口市立中央図書館 TEL 083-901-1040